

村上岩船福社を 知りたくなるマガジン

もっと

No. 26
2024

広報 悠久



特集 SPECIAL FEATURE

村上岩船福社会で働く職員たち



ご利用者とご家族のニーズに寄り添った人でありたい。

特別養護老人ホームいわくすの里

副主任生活相談員兼介護士

佐藤 祐輝

前の職務が居宅介護支援専門員でしたので、ご利用者とそのご家族と向き合う姿勢は、その時とほとんど変わっていませんが、ただ今は立場が違うので、在宅から「施設の職員」としての意識は変えています。生活相談員の立場としてのやりがいと言うならば、介護職員と協力しながら、その方とご家庭の生活を支えていると感じられた時でしょうか。ショートステイで穏やかに変わりなく過ごされている姿を見ていると安心します。これからの要求に感じるのではなく、その方とご家族のニーズに寄り添った人でありたいと思っています。

介護職員と協力してその方の生活を支えていると感じられた瞬間



常に穏やかな施設の日常とご利用者との関係性が私は好き。

特別養護老人ホームさつき園

副主任看護師

星 温子



ご利用者からの不調の訴えや要望に対して、自分で解決できた時はもちろん嬉しいけど、メンバーで話し合い、先生にお願いして診察してもらったことで、病気が早期に見え、改善に向けた処置もできた事に、ご利用者から「症状が良くなった」「薬を出してもらえて嬉しい」と喜んでもらえる。そんな時が一番「やってよかった」とやがりがいを感じる瞬間です。私は病院勤務の経験もありますが、介護施設の日常が常に穏やかで、ご利用者の何気ない会話など、病院とは少し違うご利用者×看護師との関係性が好きです。

喜んでもらった時が「やってよかった」と感じる瞬間



特集 SPECIAL FEATURE

村上岩船福祉会で働く職員たち

—それぞれの職務の中でやりがいを感じる瞬間を聞いてみました—



やりがいは、みつけばいくらでもあります！

障害者支援施設浦田の里

生活支援員

池田 将

浦田の里も全体的に高齢化が進んでいます。自分が入職した頃、車椅子の方は2名ぐらいだったと記憶していますが、今は入居者の半分は車椅子の状態になっているので、排泄、入浴での介助も多く、食事でも誤嚥のリスクが高く、見守りが必要とする方が増えています。しかし、大変ではあながらも、ご利用者から介助後に「ありがとう」の感謝の言葉をいただけるだけでやりがいが持て、毎年の浦田祭や納涼祭でも「楽しかった」という言葉をいただけると、やって良かったと思えるので、やりがいは探せばいくらでもある仕事だと思います！

「ありがとう」の感謝の言葉だけでやりがいがある



モットーは、ご利用者の健康を口から守る！

デイサービスセンター羽衣

歯科衛生士

谷井 美香



健康な大人の人もお口の衛生管理ができていない人がほほほなので、高齢になってくるとそれがより難しくなる。お口の健康は体の健康につながっている。『ご利用者の健康を口から守る！』をモットーに援助しています。その中で衛生面が改善していきなり、ご利用者からムセがなく、続々と直接言われると、やりがいに繋がっています。また、「ちゃんと入れ歯が磨けているか見てほしい。」など、ご利用者自身からお口の衛生面に意識が上ってきたと嬉しくなります。

お口の衛生面に意識が上ってきたと感じられた瞬間





2024 NEW STAFF MEMBERS!
令和6年新採用職員紹介



小中学校等福祉・介護体験 出前授業をやっています！



小学校、中学校、中等教育学校に当法人職員が出張し、講話や体験教室を行う事業です。児童・生徒たちにとって高齢者介護や障害者支援に触れる貴重な体験となり、毎年好評をいただいております。学校の器具も一部お借りして手作り感あふれる体験授業にしており、先生からの希望に合わせて講話だけでも対応しています。

講話



教室をお借りして、介護、医療、障害福祉に関するご希望のテーマに沿って、専門職を派遣し講話します。



視覚障害体験



特殊なゴーグルを着用して目が見えにくい状態を作り、学校にある段差などを実際に昇降します。障害者への声のかけ方やその重要性も体験します。



膝関節拘縮体験



特殊なサポーターで膝を固定して、障害物を乗り越えたり、座った状態から立ちあがれるかなど、膝に障害を持つ人の大変さを疑似体験します。



車いす体験



車いすの仕組みや操作手順を習います。その後は実際に操作したり乗車しながら、車いすの乗りごちなどを体験します。



お問い合わせ先：村上岩船福祉社会 本部事務局 (0254-50-2222)

広報紙悠久 第26号



—発行元—
〒958-0053
新潟県村上市上の山2番17号
社会福祉法人村上岩船福祉会 本部事務局
TEL 0254-50-2222
MAIL jimuhonbu@murakamiwafune.or.jp

法人基本理念

一人ひとりの安心と笑顔のために

～ 基本理念にこめる思い ～

“一人ひとり”には、私たちの施設やサービスを利用されているご利用者とそのご家族であることはもちろんのこと、協力して下さる地域のみなさま、そして、村上岩船福祉会で働く職員全員が含まれています。すべての人たちが、住み慣れた地域で、安心して笑顔で暮らし続けることができる、そんな地域社会を目指したい！これが私たち村上岩船福祉会の基本理念です。

ウェブサイト インスタグラム ムービー



編集後記 Editor Note

今年も暑い夏になりました。
9月下旬には記録的大雨に見舞われ、当法人の一部事業所でも避難等についての検討を迫られましたが、幸いなことに目立った被害なく過ごすことができました。
天候だけでなく社会情勢も大きな動きが続いています。
10月1日に石破内閣が発足し、さっそく解散総選挙が行われることになりました。この号を手にとられる頃には結果が明らかになっているでしょう。政治の動きに大きく影響される福祉事業所としては、少しでもよい変化があらわれることを期待するばかりです。
さて今回の「悠久」では、当法人の事業所で働く職員をご紹介します。異なる専門性を持った職種が集まり、共通の目的に向けて共に働くことを「多職種協働」と言います。人や国同士の軋轢が目立つ昨今ですが、せめて当法人のご利用者には笑顔で穏やかに過ごしていただけるように、多職種協働を心掛けてまいります。
「和を以て貴しとなす。」
日本にはいい言葉があります。

業務企画課課長
高橋 英男

No.26の表紙

デイサービスセンターいわくすの里
職員のみなさん

デイサービスセンターいわくすの里は、口腔ケアとリハビリに力をいれています。ご利用者の皆さんが楽しく過ごしてもらうために、職員は常に笑顔と明るさを大切に日々業務にあたっています。
職員も楽しみながら仕事をしているので時に脱線してしまう事もありますが、ご利用者に対する支援はとてまじめです。そんな信頼のできる職員が集まり、明るく元気なチームであるのもデイサービスセンターいわくすの里の売りでもあります。これからも地域に貢献できるサービスが提供できるよう職員一同努めてまいります。

デイサービスセンターいわくすの里
主任生活相談員兼介護士 天井 智彦

